

奈良県の農作物 鳥獣被害対策について

奈良県農林部 農業水産振興課

1. 野生鳥獣による農作物被害の概況

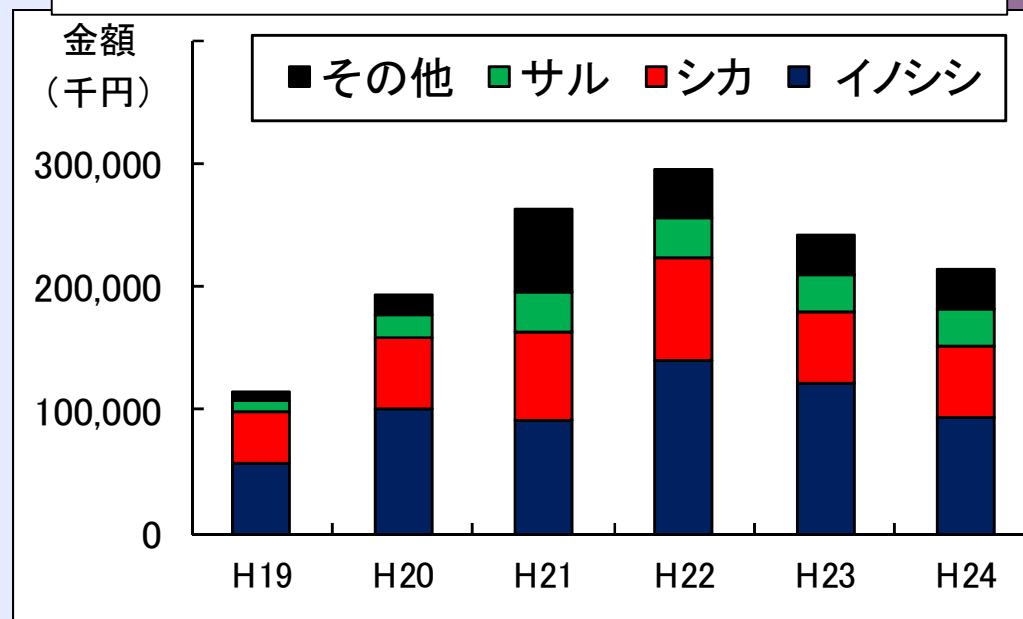
○農作物被害額

H22ピークより減少傾向
約3億円→約2億円

○主な獣種

イノシシ 5割
シカ 2割 サル 1割

奈良県における被害金額



○全体としては減少傾向だが、依然被害が高止まりしており、**対策の効果を感じ取れない地域**もある

○イノシシは減少傾向、シカはやや減少傾向、サルは地域により増加

2. 奈良県農林部鳥獣害対策本部（H18～）

- 本部**
1. 基本方針策定
 2. 施策の企画・立案
 3. 情報収集・管理・提供 その他

本部長：農林部長、副本部長：農林部次長

本部員：農林部関係課長・関係出先機関所長

- 地域本部**
1. 情報収集・管理・提供
 2. 被害対策の取組支援
 3. 関係機関・団体の連携 その他

本部長：農林振興事務所長

本部員：農林振興事務所課長・市町村担当課長・
農協営農経済セ・森林組合・農業共済・漁協等

3. 奈良県の被害防止対策方針

市町村を中心とした地域ぐるみの取組を総合的に支援

鳥獣の生態に
基づく対策

【人材育成】
地域指導者

効果的な柵の
設置方法

【生息環境管理】

鳥獣のエサ場や
隠れ場所の除去等

指導者講習参加のべ540人

隠れ場除去
で効果UP

【被害防除】

侵入防止柵の設置、
追い払い活動等

防護柵総延長586km (H19-24)

それでも増え
過ぎたら・・・

【個体数調整】

鳥獣の捕獲

防護柵では
止めきれない

シカ27,202頭・イノシシ18,496頭 (H22-24)

4. 鳥獣被害防止対策事業

○鳥獣被害防止特措法の主旨による取組を推進

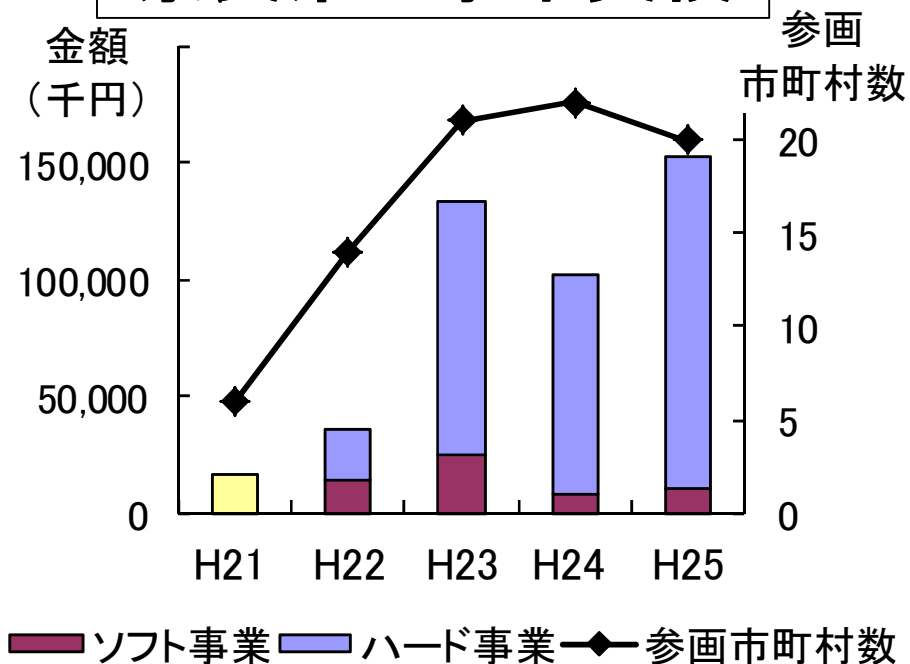
○市町村が作成した被害防止計画に基づく取組を支援

○対策の担い手となる鳥獣被害対策実施隊を重点的に支援

ソフト対策：地域ぐるみの
総合的な被害防止活動
補助率1/2（実施隊定額）

ハード対策：地域一体の
防護柵整備等
補助率1/2（自力施工定額）

奈良県の事業実績



5. 事業のメニュー

【ソフト対策】

人材育成

対策講習会、狩猟免許取得補助

生息環境管理

緩衝帯整備、放任果樹除去、
発信器による生息調査など

個体数調整

捕獲機材導入、捕獲・追払い活動、
ICTを用いた大量捕獲等

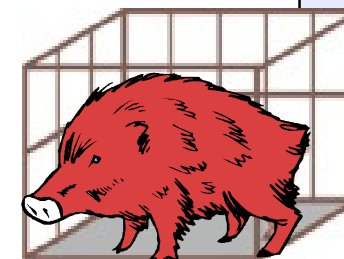
【ハード対策】

被害防除

地域一体的な防護柵の整備

捕獲獣有効利用

食肉処理加工施設の整備など



6. 鳥獣被害対策実施隊について

被害防止の実践的活動

一斉捕獲、追い払い

集落点検・見回り

緩衝帯・防護柵設置など

設置に必要な手続き

隊員の報酬や補償措置
を条例で定める

市町村長が隊員を
任命または指名

隊員の優遇措置

技能講習免除

狩猟税軽減

公務災害適用

事業の優遇措置

ソフト定額補助

特別交付税措置

交付金優先配分

奈良県の状況

被害防止計画
29市町村

実施隊10市町村